



# くまがや 市議会だより

Kumagaya City Council Newsletter

12月定例会

平成26年2月1日発行

第34号

問い合わせ 熊谷市議会事務局 〒360-8601埼玉県熊谷市宮町二丁目47番地1 ☎048-524-1573(直通)  
E-mail [gikaijimukyoku@city.kumagaya.lg.jp](mailto:gikaijimukyoku@city.kumagaya.lg.jp) <http://www.city.kumagaya.lg.jp/shigikai/>



雪の朝 (第3回くまがや景観写真展応募作品: 撮影 広瀬三男さん 撮影地 妻沼聖天山平和の塔)

妻沼聖天山の境内にある平和の塔は、昭和33年に戦没者英霊の供養と世界恒久平和達成の祈願によって建立されました。

雪景色をまとい、手前の赤い平和橋とのコントラストもまた一段と映えます。

## 主な内容

- ☆ 平成25年第4回定例会の概要 . . . . . 2~3
- ☆ 一般質問(要旨) . . . . . 4~11
- ☆ 委員会行政視察・トピックス・12~13
- ☆ 委員会での主な質疑 . . . . . 14~15
- ☆ 3月定例会日程等 . . . . . 16

議会インターネット中継は熊谷市議会ホームページから

熊谷市議会

検索

議会を傍聴しましょう。次の定例会は2月27日からの予定です。

# 平成25年 第4回 定例会

## 市役所本庁舎耐震改修工事設計業務委託などの一般会計補正予算などを可決

### 平成24年度熊谷市一般会計歳入歳出決算などを認定

#### 市長の提案説明

初日（12月3日）の本会議では、市長の所信表明の後、議案について次のような提案説明がありました。

「今定例会に提案する諸議案について、初めに、**一般会計補正予算のうち歳出の主なものは、総務費**においては、市役所本庁舎の耐震化にかかるプロポーザル提案により、整備方針が決まったことから、「本庁舎耐震化事業」に、その基本設計経費を計上するものである。



耐震化整備方針が決まった市役所本庁舎

**民生費**においては、介護施設の安全確保のため、小規模多機能型居宅介護事業所の

スプリングクロー設置費用に對して、補助金を追加するものである。**商工費**においては「共同利便施設等補助事業」で、商店街等の街路灯新設費用に對して、補助金を追加するものである。**教育費**においては、私立幼稚園の保護者負担の軽減のための「就園奨励事業」において、補助

金の算出単価が引き上げられたことに伴い、これを増額するものである。また、星宮公民館に匿名の寄附があったことから、その趣旨をふまえ、「地域公民館管理運営経費」に、環境整備のための経費を計上する。

**歳入**については、今回の補正の財源として、国・県支出金などの特定財源、市民の皆様からの寄附金および交付額が確定した普通交付税などと併せ、前年度繰越金を充て、調整することとした。また、平成26年度に及ぶ本庁舎耐震改修のための設計業務をはじめ、新年度以降に予定される業務で、今年度中に業者選定から契約までの一連の準備行為を完了する必要

がある業務委託や指定管理などについて、債務負担行為を補正するものである。

次に、**特別会計の補正予算**では、国民健康保険特別会計、下水道特別会計および後期高齢者医療特別会計について、それぞれの経費の決算見込みを勘案し、所要の額を補正するものである。

また、**一般議案**として、年次有給休暇等を暦年対応から年度対応に移行するなどの「熊谷市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例」の一部を改正する条例をはじめ、消費税法等の改正に伴う関係条例の改正や、公の施設の指定管理者の指定などを提案している。」

#### 審議の概要

12月6日の本会議では条例案や補正予算案に對する質疑が行われた後、各議案は所管の常任委員会に付託されたほか、選挙管理委員会委員および同補充員の選挙が行われました。9日には総務

文教常任委員会および環境産業常任委員会において、また10日には市民福祉常任委員会および都市建設常任委員会において、付託された議案についてそれぞれ審査が行われました。

最終日（20日）の本会議では、各常任委員長から案件審査の経過および結果が報告され、質疑、討論を行い、市長提案議案をすべて原案どおり可決しました。また、教育委員会委員の任命および公平委員会委員の選任について同意し、第4回定例会は閉会しました。

各議案の審議結果は次ページの表のとおりです。

#### 選挙管理委員会委員の選挙

12月6日の本会議において次の方が当選しました。

##### ◇選挙管理委員会委員

小林 武夫氏 木村美知子氏  
高橋志津子氏 戸谷 弘昌氏

##### ◇選挙管理委員会補充員

木村慎一郎氏 池田美智恵氏  
大島 茂氏 藤野 佳子氏

# 平成 25 年 第 4 回定例会 審議結果

○：賛成、×：反対、欠：欠席、退：退席

議案番号	議席番号、議員名 議案件名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32					
			小池厚	閑野高広	守屋淳	林幸子	関口弥生	野澤久夫	原口健二	大嶋和浩	山田忠之	黒澤三千夫	杉田茂実	須永宣延	小林一貴	松浦紀一	桜井くるみ	松本貴市郎	三浦和一	大山美智子	森新一	加藤恒男	富岡信吾	福田勝美	磯崎修	松岡兵衛	松本富男	新井正夫	加賀崎千秋	新井昭安	小林甚一	新井清次	大久保照夫	栗原健昇					
第60号	平成 24 年度熊谷市一般会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
第61号	平成 24 年度熊谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
第62号	平成 24 年度熊谷市下水道特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
第63号	平成 24 年度熊谷市公共用地先行取得特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
第64号	平成 24 年度熊谷市駐車場事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
第65号	平成 24 年度熊谷市熊谷都市計画事業土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
第66号	平成 24 年度熊谷市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
第67号	平成 24 年度熊谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
第68号	平成 24 年度熊谷市水道事業会計決算及び剰余金の処分について	認定及び原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
第87号	平成 25 年度熊谷市一般会計補正予算（第 4 号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
第88号	平成 25 年度熊谷市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第89号	平成 25 年度熊谷市下水道特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第90号	平成 25 年度熊谷市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第91号	熊谷市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第92号	熊谷市行政財産の使用料に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第93号	熊谷市手数料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第94号	熊谷市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第95号	熊谷市農業集落排水施設条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第96号	熊谷市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第97号	熊谷市流水占用料等徴収条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第98号	熊谷市都市公園条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第99号	熊谷市下水道条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第100号	熊谷市水道事業給水条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第101号	熊谷市火災予防条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第102号	公の施設の指定管理者の指定について（熊谷市市民活動支援センター）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第103号	公の施設の指定管理者の指定について（熊谷市立老人憩の家荒川荘）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第104号	公の施設の指定管理者の指定について（熊谷市立老人憩の家平戸荘）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第105号	市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第106号	市道路線の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第107号	熊谷市教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第108号	熊谷市教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第109号	熊谷市公平委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第4号	「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の提出を求める請願	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※議員出席状況は加付資料2

# 市政、 ここが知りたい!

## 一般質問 (要旨)



一般質問は、定例会で、議員が議案に関係なく市政全般について、市の方針をただすものです。

12月定例会では、13日、16日、17日の3日間、次の18人の議員により行われました。

数多くの質問の中から、1議員につき1項目を選び、質問と答弁の要旨をご紹介します。

なお、答弁の文末の( )内は、主な所管課です。



### 漫画「はだしのゲン」 騒動について



まつもととみお  
松本富男議員  
(志働会)

**問** 鳥根県松江市での漫画「はだしのゲン」騒動は

社会に大きな波紋を投げかけた。この漫画は、最初「少年ジャンプ」に掲載されたが、その後「市民」、「文化評論」、「教育評論」と掲載誌が変わり、そのためか前半と後半で内容が大きく異なる。前半は感動ものだが、後半は極めて思想的で根拠のない旧日本軍の残虐な蛮行や天皇批判がこれでもかとグロテスクに描かれている。

表現の自由は保障されなければならぬがそこには当然教育的配慮が必要である。一般図書館と小中学校図書室を同列に論じることができない。そこで本市の現状について①小中学校図書室には置いてあるか②子どもたちが読むのに制限はあるか③教材として

利用することはあるか④「はだしのゲン」の他に漫画はどのようなものがあるか⑤図書購入はどのように決まるのか⑥市としては、今回の騒動を受けてどのような対応をしたかについて、それぞれ伺いたい。

**答** ①45校中29校の図書室に置いてある。②現在のところ、制限のない学校は23校、制限のある学校は6校である。③教材として利用している学校はない。④「日本の歴史」や「世界の伝記」、「三國志」や「ドラえもん」などがある。

⑤児童、生徒からの希望や教員、司書教諭や図書館補助員等の要望に基づき、各学校で決めている。⑥「はだしのゲン」には子どもたちの発達段階に応じた教育的配慮が必要であると考え、適切に対応するように全校長に指示した。(学校教育課)

○その他の質問項目  
「CSRの推進について」  
「障害者優先調達推進法の周知と活用施策について」  
「第30次地方制度調査会答申について」

### 認知症のお年寄りが、 安心して住める街にするための対策について



みうらかずいち  
三浦和一議員  
(公明党)

**問** ①要介護認定者の中で認知症の症状のある人の数

②行方不明者として防災行政無線で放送している件数③徘徊高齢者探索サービス事業はどのようなものか、利用件数は④徘徊者が見つかった後の対応⑤行方不明になった高齢者の早期保護を図るためのネットワークシステムの現状⑥本市の認知症サポーター養成講座の受講状況と先進地である福岡県大牟田市の認知症コーディネーターの養成講座の違いと検討すべき点⑦徘徊者に対応するための訓練の実施について、それぞれ伺いたい。

**答** ①平成25年11月末現在

要支援・要介護認定者8,071人中、4,349人である。②本年度は11月末までに41回、認知症のある人は22人。③行方不明者の連絡を元に発信機の位置を探索し、現在地

### 市政を問う

「公用車へのドライブレコーダーの設置について」、「ガソリン携行缶の取扱いについて」

○その他の質問項目  
(長寿いきがい課)

を知らせる大里広域市町村圏組合の地域支援事業で、平成23年度8人、24年度6人、現在5人が登録している。④熊谷警察署からの保護の連絡に合わせ防災行政無線で保護の放送をするのみなので、その都度探索サービス等を家族に紹介する協力を警察に働きかけていく。⑤本市ではシステムを備えていないが既存の高齢者虐待防止ネットワークの仕組みを活用できないか検討する。⑥本市では、広く市民を対象に市民サポーターの養成を目的としているのに対し、大牟田市では、介護サービス事業所や医療機関の職員を対象に、専門的コーディネーターの養成を目的としている。本市では講座を19年度に開設以降、25年11月末までに4,901人が受講しているが、講座を修了したサポーターに地域でいかに活動の場を広げていくかの支援方法が検討課題である。⑦地域での徘徊高齢者の早期発見、見守り支援の一手法として先進事例を参考に今後研究していきたい。

### 熊谷市発行の公文書の性別記載について



はやし さちこ 議員 (公明党)

#### 問

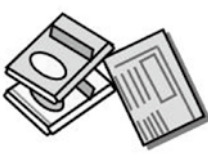
厚生労働省はこのほど精神障害者保健福祉手帳から性別欄を削除する方針を固めた。心の性別が戸籍と異なる性同一性障害(GID)への配慮で、来年も様式を変更するという。この福祉手帳は、統合失調症など精神疾患で、生活に支障がある人を支援するためのもので現在税の減免や公共交通機関の割引、自治体・民間業者の各種優遇などが受けられるが、これらのサービスには性別と関係がないことから、厚生労働省によるこの方針は、GID当事者に配慮した取り組みと評価されると感じている。このような背景の中、①運転免許証や市立図書館利用カードには性別記載はないが、公文書の中には記入を求めているものがある。それについての見解は。また公文書性別記載は法的根拠はあるのか②熊谷

#### 答

①本市に提出する各種の申請書等において、男女別の記載を求めているものとしては、大別して、法令や県、本市の規則等で様式が定まっているものと本人確認や報告等の集計上の理由から求めているものがある。前者の例としては住民基本台帳カードの交付申請書や印鑑登録申請書などがあり、後者の例では選挙の入場券などが挙げられる。なお、税の申告書や所得証明など、特に必要性もないことから男女別の記載を求めているものもある。②現在、性別記載欄を設けている各種の申請書等については改めてこの機会にその必要性の有無を精査し、可能なものは順次見直しをしたい。

○その他の質問項目

「雑誌スポンサー制度について」



### ラグビーワールドカップ 2019熊谷市招致を



もり しんいち 議員 (進政会)

#### 問

①ラグビーワールドカップ2019熊谷招致に向けた現状および見通し②市内のラグビー部がある中学校名と市内中学校のラグビー指導資格を持つ教員の人数について、それぞれ伺いたい。



#### 答

①ラグビーワールドカップの試合招致に向けこれまで二度にわたり日本ラグビー協会、組織委員会に10万人を超える署名を提出するとともに、ピンバッジやのぼり旗など、各種グッズを作製し、周知啓発を図ってきた。また埼玉県をはじめとする関係機関に要望や協議を進めてきた。



ラグビーワールドカップ啓発グッズ

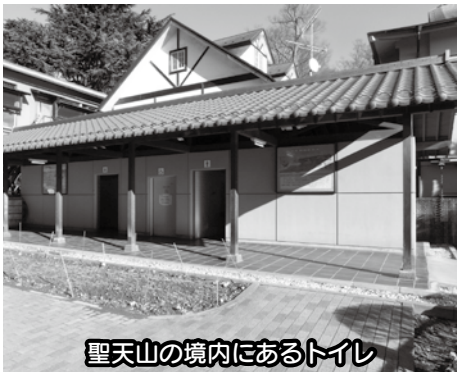
上田知事には直接市長から施設改修をはじめとした支援協力を要請し、県議会にも招致推進の議員連盟が設立されるなど招致の体制がさらに充実してきた。すでに10月末には本市をはじめ開催を希望する自治体あてにガイドラインが送付されてきている。今後は26年1月に提出期限を10月末とした開催希望申請書が配布され、その後現地視察等を経て、組織委員会と大会を実際に運営するラグビーワールドカッププリミテッドで検討し2015年3月に開催都市が決定される予定であるので試合招致実現に向け全力で取り組んでいきたい。②ラグビー部のある中学校は熊谷東、吉岡奈良、大幡の4校で指導資格を持つ教員は6名である。(ラグビーワールドカップ招致室)

国宝歎喜院聖天堂  
境内整備について



こばやしつかん  
小林一貫議員  
(市政クラブ)

**問** 国宝指定以来、歎喜院聖天堂を訪れる観光客は増加している。また地域でも熊谷の観光の名所とすべく多くの団体がボランティアとして関わっている。地域住民が自信を持って観光客に国宝を案内し観光客に満足していただくためにも利用しやすいトイレが不可欠と考えるが、境内にあるトイレの現状と今後の予定について伺いたい。



聖天山の境内にあるトイレ



観光客に説明するボランティアの方

**答**

トイレは聖天山の境内と駐車場の2カ所に設置されているが、本年度は、それぞれの女性用トイレに各1基の洋式便器を設置するとともに、照明器具の増設や個室内への手すりの設置、給排水管の補修、内壁タイルの補修等を行っている。今後も聖天山を訪れる皆さんがトイレを快適に使用できるよう、適宜整備を進めていきたい。

(商業観光課)

○その他の質問項目  
「ゆうゆうバスの運用について」



ノルディックウォーキング  
について



くろさわみちお  
黒澤三千夫議員  
(民主)

**問** ノルディックウォーキングについて本市ではどのようにとらえているか①スポーツ熱中都市宣言の熊谷市としてスポーツの観点からの今後の展望②健康づくりの観点からの今後の展望③「歩育」として正しい歩行姿勢習得や体力向上の観点から幼稚園児や小・中学生の正しい歩行姿勢の習得や体力の向上に活用できないかについて、それぞれ伺いたい。

**答**

①ノルディックウォーキングは2本のポールを使って歩行運動を補助し、運動効果をより高める運動で、もともとオフシーズンのスキートレーニングとして北欧で始まり、日本では北海道や東北などの北日本を中心に行われるようになった。県内では20ほどの市町のホームページで紹介されており、近隣では川島町や行田市が体験教育を実

施しているほか、和光市、嵐山町、ときがわ町の総合型地域スポーツクラブにおいて活動が行われている。本市では、今年度中央公民館の主催事業として体験講座を実施した。ノルディックウォーキングは勝敗や記録を目的として行うスポーツではなく、体力の維持・強化や健康の保持・増進に効果的な運動であるとしてらえている。体験講座の実施や市のホームページ等で効果等を紹介することにより、今後愛好者が徐々に増えていくものと考えている。②全身を使う有酸素運動であり、通常のウォーキングと比較すると、エネルギー消費量も多いため、心肺機能の強化や、生活習慣病につながるメタボリックシンドロームの予防・改善に効果があると考えられる。今後、スポーツ関係機関等と連携を図りながら普及を推進していきたい。③幼児教育や学校教育において活用することについては現在のところ考えてはいないが、背筋を伸ばした正しい歩行姿勢や体力向上につながるなどのことなので、もう少し研究してみたい。

(スポーツ振興課・健康づくり課・学校教育課)

学校給食の自校式について



さくらい  
桜井くるみ議員  
(日本共産党)

**問** 市長選での公約で、「学校給食を計画的に進めます」とあり、6月定例会に引き続き、学校給食の自校式について取り上げた。現在、自校式の妻沼地域はご飯を家庭から持参し、大里地域は学校給食会でまとめて炊いて運んでいる。温かい食事の基本は学校でご飯を炊くことだが、家庭用の電気炊飯器で炊いている高知県南国市もある。また、食育の観点や雇用の問題から直営で行うべきだと考える。食品の放射能汚染の検査体制、食物アレルギーへの対応など、直営自校式で、より個別的な対応ができることを期待する。そこで①これまでの検討内容、到達は②自校式を選んだ理由③検討委員会に学校現場の校長や栄養士、栄養教諭、PTAの代表者などをメンバーに入れる考えはあるかにつ

いて伺いたい。

市政を問う



いて、それぞれ伺いたい。

①現在、給食センター方式の熊谷、江南地区についても、自校式を取り入れる方向で検討を進める。自校式に移行する際には、調理場の建設に多額の費用が必要になると見込まれることから、財政状況を考慮し、より効率的な設置方法や運営方法について、米飯の炊飯を含め、さらに検討を行い、計画を策定する。②まず第一に、子どもたちにより温かいものを食べさせることができること、また、食育、地元食材の活用等の観点からも、自校式が有効であると考える。③外部の意見を聴取する組織をつくるかどうかについて、今後、検討していく。

○その他の質問項目

「国の農政の転換に関わって」

こども医療費の無料化  
年齢の拡大について



大山美智子議員 (日本共産党)

問 今、子育て世代の家庭で就職がうまく行かず、収入が減っている状況が続いている。こうした時に今回の年齢拡大は本当にありがたいものとなるだろう。しかしせつかくの子育て支援も、生活に困っている世帯が受けられない、ましてお金がなくて医療にかかれず、我慢して体調を壊すのでは困るため、対象となる全ての子どもが今後安心して医療にかかれるよう求める。

そこで①こども医療費無料化のこれまでの経緯②市長選の公約の「こども医療費無料化の対象を高等学校卒業までに拡大するとともに、受益と負担の公平を図ります」の内容③熊谷市が誇る、所得制限をつけられないことや現物支給については引き続き行う予定かについて、それぞれ伺いたい。

答 ①本市のこれまでの経緯は、小・中学生の入院は、平成18年6月以降の診療分から、通院は、20年6月以降の診療分から窓口無料化の対象としている。窓口無料化の拡大は、24年10月から深谷市、行田市の医療機関を、25年10月には寄居町の医療機関を受診した場合でも、その広域化の拡大を図った。

②高等学校卒業まで窓口無料化を拡大する政策提言だが、こども医療費の助成は、市民の大切な税金を財源にしていることから、高等学校卒業までの医療費無料化の拡大に当たっては、市税等の完納を要件とするなど、すでに取り組んでいる他市を参考に、受益と負担の公平化に向け、本市にとって最適な制度設計としていく。③所得制限や現物支給のあり方については、現行制度を基準に検討する。

○その他の質問項目

「住宅リフォーム助成制度の創設について」

「子ども・子育て新システムについて」

安全なまちづくりについて



関口弥生議員 (公明党)

問 (1)子どもたちの命を守るために①朝の登校指導の実施状況②通学路の防犯パトロールの実施状況③災害時に市民の生命を守るために④指定避難所⑤自主防災組織について、それぞれ伺いたい。

答 ①全ての保護者が輪番制で行っている小学校が25校、PTAの役員等一部の保護者が輪番制で行っている小学校が4校ある。②自治会を中心とした自主防犯団体が319団体あり、県内第2位である。また、市内全ての小学校に校区連絡会や学校応援団が組織され、子どもたちの登下校時刻に合わせ、通学路を一緒に歩いたり、危険箇所等に立って児童を安全に誘導していただいている。③東日本大震災を教訓に、地域防災計画を見直し、指定避難所である市内全小学校を、防災活動拠点と位置付け、昨年から

らペットボトルの飲料水や毛布の分散配備を進め、本年度からは発電機や災害用トイレ等の資機材の配備を開始し緊急時の対応を進めている。また「避難所開設マニュアル」を作成し、学校等との共通認識に立って災害発生直後からの円滑な救援・救護を図ることとしている。施設の安全確認や開設は行政側で行うがその後は、地域において避難所運営委員会を組織し、役割分担や施設の利用方法など自ら決め運営していただく。④25年12月1日現在で225の組織が結成され、震災直後の23年4月1日の150組織から1.5倍と急増している。全般的な活動状況は、昨年度は119組織が延べ129回の避難誘導や初期消火・炊き出しなどの訓練を実施し、本年度はこれまでに116組織が124回取り組んでいる。引き続き、共助の取り組みの重要性を啓発しながら自主防災組織への働きかけを強め、地域の防災力向上に努める。

○その他の質問項目

「景気浮揚策としての公契約における労務費の底上げについて」

新しい熊谷づくり その10



野澤 久夫 議員 (清新会)

**問** (1)道路整備について①道路整備費用(新規・新設)の過去3年間の推移②道路整備費用(維持・管理)の過去3年間の推移③本市歳出総額に占める普通建設事業費の割合の推移および県内市平均の数値と県内順位④熊谷バイパスについて⑤上尾国道を含めた全体計画の概要⑥柿沼・肥塚立体の概要⑦上之南交差点までの将来像と国、県との折衝・協議⑦圏央道の完成時期について、それぞれ伺いたい。

**答** ①平成22年度10億900万円、23年度8億3,900万円、24年度7億5,300万円 ②平成22年度6億1,800万円、23年度3億2,300万円、24年度3億6,500万円 ③年度、割合、県内平均値および順位

の順に、平成21年度8・1%、13・8%、36位、22年度8・9%、12・6%、32位、23年度

8・8%、12・0%、28位④鴻巣市箕田交差点を起点とし、行田市を経由し熊谷市高柳交差点を終点とする延長約18・1キロメートル、標準幅員50から26・5メートルで、国土交通省では首都圏と上越方面の経済・文化の交流促進等の役割を担う地域高規格道路「熊谷渋川連絡道路」と位置付けている。また県央地域の南北交通軸の上尾道路は鴻巣市箕田交差点から北本市側区間で23年度より事業を進めている。⑤交通渋滞の緩和、幹線道路の機能確保等を目的に柿沼および肥塚交差点を含む1・6キロメートル区間を立体化し、平成13年2月に工事着手、16年2月に開通した。⑥国道125号バイパスと熊谷バイパスとの交差点の交通円滑化を図るには、立体化が有効なため、行田市、鴻巣市と本市で構成する熊谷バイパス建設促進期成同盟会で、国土交通省等の関係機関へ要望活動を行っている。⑦大宮国道事務所は、埼玉県区間の開通の目標を平成26年度としている。

○その他の質問項目

「成年後見人制度と市民後見人制度について」

子ども・子育て支援 新制度と熊谷市



阿野 高広 議員 (清新会)

**問** ①新制度の基本構造と導入によって誰の何がどう変わるのか②熊谷市子ども・子育て支援に関するニーズ調査③幼保連携型認定こども園④課題と連携推進体制について、それぞれ伺いたい。

**答** ①新制度の基本構造は「認定こども園の改善」「新たな支援給付制度の創設」「地域子ども子育て支援の充実」の3点が柱となっている。導入による変化について、施設整備面では「認定こども園」の設置に必要な手続きが簡素化されるほか、計画的な保育施設の整備による待機児童の解消に加え、親子が交流する拠点を増やすなど、その財政的支援が強化されることとなる。また、施設運営費面では、新制度に移行する全ての施設を対象に市町村が運営費を給付する一方、保育料についてはこれらの施設を利用

する保護者の所得に応じた決定となる。②保育需要や子育て支援施設の利用状況など、市独自の事業計画策定の基礎資料として活用するものである。調査方法は無作為で抽出した就学前児童2千人と5歳児から小学校3年生までの児童千人の保護者を対象に、それぞれ専用の調査票を郵送し、12月13日までを返送期限とした。③幼保連携型認定こども園は、幼児期の教育、保育および地域における子育て支援を一体的に提供する施設であり、市としては既存の幼稚園等の意向に沿った国・県の補助メニュー等の提供や相談に応じながら、その移行・整備を促進したい。④新制度への円滑な移行が最優先課題であり、利用者や施設事業者への的確な情報提供とともに十分な制度説明が重要となるので、幼稚園を対象とした新制度の先取り事業説明会や公立保育園長会議等の開催時に、その移行に関連した質問や意見交換を行っている。

○その他の質問項目

「籠原駅周辺エリアへ期日前投票所を設けることの効用を考える」

スポーツ・文化振興について



加藤 恒男 議員 (志働会)

**問** ①文化振興に関する事務を市長部局に移管すべきではないか②スポーツ振興課を市長部局に設置した効果③BCリーグの現状と設立に関する所感④フルマソン実施の可能性⑤熊谷フィルムコミッションの実績と今後の展望について、それぞれ伺いたい。

**答** ①当該事務は社会教育との密接な関連があることから教育委員会が所管しているが、地域振興につながるまちづくりの観点から、市長部局とさらなる有機的な連携の強化を図っていきたい。②スポーツを中心としたまちづくりを市全体で取り組むうえで、観光部門をはじめとした関係機関との連携や市全体のイメージアップに効果が上がっているものと考えられる。③ベイスボール・チャレンジ・リーグ(略称BCリーグ)は、北陸および上信越6県(福井、

滋賀、石川、福井、富山、山梨)を核として、2022年に開幕した。熊谷市は、BCリーグの加盟を目指している。熊谷市は、BCリーグの加盟を目指している。熊谷市は、BCリーグの加盟を目指している。



市政を問う

石川、富山、長野、新潟、群馬）を活動地域としているプロ野球の独立リーグであるが、このたび埼玉県に新球団を設立、活動拠点を熊谷市に置き、2015年シーズンから参入することが発表された。新球団設立により、まちづくりや地域の活性化に大きな期待を寄せているところであり、設立を歓迎するとともに、市民に愛される球団となるよう支援したい。④コースの選定や6時間から7時間にも及ぶ交通規制など警察との調整やボランティアの確保等多くの課題があるため、引き続き研究課題としたい。⑤平成20年10月に設立後、撮影場所の紹介や誘致に努め、エキストラの確保や宿泊施設のあっせん、弁当の手配など84件の撮影支援を行ってきた。これにより市のPR効果も見込め、さらに撮影された作品がヒットした場合、観光地としてより大きな経済効果があるものと考えている。また多くの市民が改めて地域を見直すきっかけとなり、本市への愛着につながる効果も考えられるので、引き続き撮影誘致・支援に努めたい。

(行政改革推進室・スポーツ振興課・商業観光課)

食とエネルギーの自給自足で、本市独自の強い農業を確立し、循環型社会を創出することについて



すぎたしげみ 杉田茂実議員 (熊和会)

問

①ここ10年の農政で本市農業の力を生かし切れていない点②農地の集積等大型化により本市農業に与えるメリットとデメリット③バイオマスエネルギー創出が耕作放棄地解消につながるか④循環型社会を目指すための農業の果たす役割⑤これまでに環境・農業振興分野で国の公募型事業に応募もしくは実現した事例の有無⑥バイオマス産業を軸とした環境にやさしく災害に強いまちづくりを推進するため「バイオマス産業都市づくり対策事業」の政策目標に沿った計画がどの程度描けるのかについて、それぞれ伺いたい。

①巨大消費地を近郊に抱える立地の優位性や、高品質の農産物を生産する力があるが、これらを生かし切れていないと考えている。②メリットは生産コストが削減され収益が向上すること。デメリ

ットは兼業農家等の小規模農家の減少により、コミュニティの維持や地域資源の保全・管理等が困難になっていくことが考えられる。③エネルギー転換に必要な資源作物の需要が見込まれ、耕作放棄地解消のきっかけになるものと考えられる。④耕種農家と畜産農家の耕畜連携による、飼料の供給から家畜排泄物や農業残渣を使用した有機堆肥の製造への循環、バイオマス資源の供給および生物多様性の保全に配慮した環境保全型農業の実施など、多くの役割を担うものと考えている。⑤本市では環境分野・農業分野とも実施していない。⑥本市に潜在するバイオマスは、廃棄物系(家畜排泄物、食品残渣、農業集落排水汚泥)、未利用系(麦わらや稲わら等の農作物非食部、林地残材)、その他(とうもろこし・菜種・大豆等の資源作物)に大きく分類され、これらを生産から収集・運搬・製造・利用までを経済性が確保された一貫システムとして構築するのがバイオマス産業都市と考えている。今後、関係部署と連携を図りながら先進事例等を調査・研究したい。

(農業振興課)

聖天山周辺地区の整備と観光振興について



おおしまかずひろ 大嶋和浩議員 (熊和会)

問

①景観まちづくり計画と今後の整備②空き店舗活用の取り組み③「義仲・巴」大河ドラマ実現のための取り組み④さらなる情報発信⑤年代ハット口線整備についてそれぞれ伺いたい。

①聖天山周辺歴史景観誘導地区は、今年度埼玉県ふるさと創造資金の補助採択を受け、国宝のある門前町にふさわしい景観の実現に向けて、ワークショップや先進地視察等を行い、地域の方々と協働しながら景観まちづくり計画を策定している。今後の進め方であるが、本地区の景観整備を進めていくうえで、主要かつ先導的な路線である県道羽生・妻沼線の早期整備に向けて積極的に働きかけを進めたい。②商工会等と連携し、空き店舗の現状把握や新たな活用支援策を検討していきたい。③11月9日に「義仲・バススペシャルトークイベント

ントin埼玉」が熊谷市立文化センターにて開催され、大盛況のうちに終了することができた。今後は、この機運をさらに高められるよう、「義仲・巴」広域連携推進会議」に参加している関係自治体とも連携を図りながら、積極的に取り組みたい。④熊谷市観光協会のホームページについては、来年度に全面的なリニューアルをすべく、現在調整を進めている。併せて、熊谷駅に設置したデジタルサイネージ等、さまざまな手段を用いて、より効果的で魅力的な情報発信を行いたい。⑤妻沼地区の東西幹線道路として重要な役割を担う道路である。なお、11月末現在の用地取得状況は69%だが、県道太田熊谷線から市道妻沼1363号線までの区間は82%であることなどから、当面この区間の整備に向けて取り組みたい。

(都市計画課・商業観光課・道路課)

○その他の質問項目  
「竜巻・台風被害への対応について」  
「道州制時代の行政改革について」  
「その3」  
「中心市街地の活性化について」  
「その5」

スポーツ環境の整備と  
スポーツ観光について



とみおか しんご  
富岡 信吾 議員  
(熊和会)

**問** ①江南総合公園の多目的広場の整備②大里総合グラウンドの整備③「くまびあ」の整備概要と人工芝導入④来訪客に対する観光物産PRの取り組みについて、それぞれ伺いたい。

**答** ①平成23年度に西側半分の土壌改良を行い、利用者から好評を得ていることから、残り半面も同様の整備を行いたいと考えている。②車両で牽引するグラウンドマットは、良好なグラウンド環境の維持に効果的な方法と考えているので、指定管理者や利用団体と協議し、導入を検討したい。③来年度、2期工事として教室棟を創作展示棟として改修整備を予定しており、現在のグラウンドは、ラグビー、サッカー等ができる多目的グラウンドとして整備することを検討している。3期工事で宿泊研修棟およびクラブハウスなど残っている

既存施設を整備したいと考えている。多目的グラウンドについては、利用可能な期間、維持管理等を勘案し、人工芝として整備することを検討しており、その際、スポーツ振興くじ助成金も活用していきたい。④スポーツ大会等の開催に際して、飲食や物産の出店調整を行うなど、本市観光物産のPRに努めてきた。また、熊谷スポーツ文化公園や市内宿泊施設等において観光情報誌「るるぶ熊谷」を配布してもらうなど、来訪者への観光物産情報の提供に努めている。今後、スポーツ大会等、さまざまな機会をとらえて、観光物産のPRに加え、本市の魅力発信し、知名度向上に努めたい。

(公園緑地課・スポーツ振興課・社会教育課・商業観光課)  
○その他の質問項目  
「熊谷の子どもたちの教育について」



江南総合公園多目的広場

公共施設の今後について



やまだただひこ  
山田 忠之 議員  
(熊和会)

**問** ①熊谷市には、公共施設はどれくらいあるか②最も古い施設は何か③最も利用頻度の少ない施設は何か④今後統廃合する場合の基準と施設数は⑤出張所の経費は1カ所・1カ月当たりいくらか⑥出張所の利用目的で多いものは何か⑦市長の政策提言で住民票等のコンビニ交付を挙げているが、出張所の統廃合を考えているか⑧籠原駅を中心とした西部地区に、4つある支所を統合して、行政センターを設置する考えについて、それぞれ伺いたい。

**答** ①延べ床面積100平方メートル以上の建築物の棟数では、約450棟ある。主なものは、小中学校の校舎および体育館が合わせて151棟、市営住宅が53棟、公民館が27棟となっている。

②昭和32年建築の石原小学校校舎である。③平成24年度の稼働実績では江南農業総合センターである。④施設の利用状況や建築年度および維持管理経費や重複施設の有無等を総合的に判断し、来年度に策定を予定しているアセットマネジメント基本計画の中で、検討していきたい。⑤公民館と併設のため、人件費と通信費のみの経費になるが、1カ所・1カ月平均83万円である。⑥平成24年度では、印鑑登録証明書の取得が最も多く10カ所の出張所で1万6,392件、次いで、住民票の取得が1万6,118件となっている。⑦コンビニ交付により、出張所の業務の一部を代替することが可能となるので、導入に際して、出張所のあり方についても検討することになると考えている。⑧出張所のあり方の検討と併せて、総合的に検討していきたいと考えている。  
(企画課・市民課・行政改革推進室)  
○その他の質問項目  
「随意契約について」  
「姉妹都市について」

くまびあ内設備の  
更なる充実について



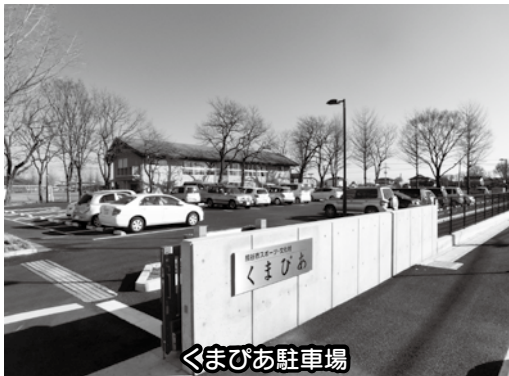
いそざき おさむ  
磯崎 修 議員  
(進政会)

**問** ①親子ふれあいルームの絵本や遊具の追加、また、屋外への遊具等の設置はできないのか②施設利用者の利便性を考え、今ある駐車場以外に駐車場を整備することについて、それぞれ伺いたい。

**答** ①「くまびあ」は子どもから高齢者までの幅広い世代の皆さんが、生涯にわたってスポーツ・文化活動に親しむことのできる生涯学習の拠点として整備している。ご指摘の



くまびあ内の親子ふれあいルーム



親子ふれあいルームについては、幼い子どもとその保護者の利用を想定して整備した。本施設がより多くの親子に使いやすく親しみやすい施設として利用できるように、遊具等の設置のほか、子育て支援拠点としての活用も視野に入れ、その充実を図っていく。また、屋外への遊具の設置については、今後整備をする中での課題としたい。

②今後、くまびあを段階的に整備する中で、取り壊す旧第一体育館およびプールの跡地や、拡張用地などに駐車場を整備する計画である。

(社会教育課)

○その他の質問項目  
「学力テストの学校別成績の公表について」

## 市民の安心・安全のために



あらいまさお 新井正夫議員  
(志 働 会)

**問**  
①消防の広域化の必要性  
②広域化の将来構想③消防団員の確保④消防団応援協力隊の発足について、それぞれ伺いたい。

**答**  
①消防力の強化による住民サービスの向上や消防に関する行財政運営の効率化と基盤強化を図るため、平成18年に広域化に関する基本方針が定められ、全国的に消防の広域化が進められたが、その進捗状況が不十分であるとして、同指針が改正された。この指針によれば、本市の20万人という人口規模および消防力の状況は、既に一定の水準にあるものと考えている。一方で、わが国の人口は、平成17年に減少に転じ、今後も少子化の傾向が続けば、各消防本部の管轄人口も減少し、将来的に消防組織の小規模化が懸念される状況にある。加えて、近年の災害の大規模化

や多様化など、今後の災害リスクの高まりが指摘されている状況を踏まえれば、広域化の必要性については認識している。②県が策定した消防広域化推進計画において、本市は県北の13の市町で構成するブロックに位置付けられているが、広域化の気運はいまだ高まりを見せていないのが実情である。広域化によるスケールメリットを実現させるためには、県が示した枠組みによるべきか、あるいは新たな枠組みの選択が必要であるのか。今後関係市町と意見交換等を実施しながら、さまざまな課題を整理するとともに、先進事例等を踏まえつつ、検討を重ねたいと考えている。

③全国的に消防団員の減少が加速する中、幸いに本市においては条例定数528人に対し、実員は510人で、充足率は97%となっている。④被雇用の団員の増加に伴い、日中の出勤人員の不足を補うため、職員や団員OBが出勤するなど、特定の活動のみ参加する形態の組織であり、注目されているが、災害補償や報酬、装備費用等の課題もあるので、今後十分検討したい。(警防課)

## インターネットで議会を見よう！

市議会では開かれた議会を目指して多くの皆さんに市議会本会議をご覧いただくためにインターネット中継を実施しています。会期中の生中継のほか、過去の本会議の様子もご覧いただけますので、ぜひご利用ください。

①まずは市のホームページから

②市議会のページのここをクリック

③生中継、録画を選びます。

録画の場合は会議名、議員名、会派名、任意の用語で見たい内容を検索できます。

## 議会運営委員会行政視察

議会運営委員会では、11月11日・12日の2日にわたり、「議会運営について」および「議会改革について」の行政視察を行いました。

初日の福島県会津若松市議会では、「議会基本条例に基づき、市民との意見交換会を起点とし、そこでの意見を広報聴取委員会において調査研究し、課題を設定し、政策討論会で問題点を分析するという政策形成サイクルを構築することにより、市民の意見・要望に 대응するために、政策提言や政策立案に積極的に取り組んでいる。」という説明を受けました。

翌日の栃木県那須塩原市では、「平成24年3月に議会基本条例を制定したが、制定までに、議会活性化検討特別委員会等で、約50回もの議論を重ね、条例の内容を市民にわかりやすい表現にした。条例で実施することを明記した議会報告会については、実施要綱を制定し、昨年は市内4会場、今年度は6会場で実施している。」という説明を受けました。

両日とも情報交換や質疑を行い、先進事例の調査・研究を行いました。



会津若松市での視察



那須塩原市での視察

## 環境産業常任委員会行政視察

環境産業常任委員会では、10月31日・11月1日の2日間にわたり行政視察を行いました。

初日は、兵庫県姫路市で、姫路市と民間企業が共同で農業の担い手への農地集積や遊休農地の拡大防止のため、太陽光発電の下で営農ができ、売電収入を草刈りなどの農地管理に充当するといった仕組みを検証している「農地への太陽光発電設備の設置による農地の利用促進に係る社会実験」について視察をしました。

翌1日には、兵庫県加古川市で、共生と循環の環境適型社会の実現に向けた対策を推進するという基本理念のもとに、地域の快適な環境の創造や地球環境の保全に資することを目的に事業者が実施すべき対策を定めている「環境保全協定」について視察しました。

両日とも、それぞれの担当者から説明を受け、質疑を行い、先進事例の研究を行いました。



姫路市での太陽光発電設備の現地視察



加古川市での視察

## 都市建設常任委員会行政視察

都市建設常任委員会では、11月5日・6日の2日間にわたり東日本大震災の津波により甚大な被害を受けた岩手県陸前高田市および大船渡市で、「震災復興に向けたまちづくり」について行政視察を行いました。

初日には陸前高田市において、震災時の被害状況、復興計画・復興状況について視察を行いました。急激に増加した事業量に対する職員の不足、土地区画整理事業等に伴う地権者の同意の難航、現行制度における国との調整などの課題が山積している状況の説明を受けました。

翌6日の大船渡市では、津波による被災現場、今なお多くの方が居住する小学校校庭内に建設された仮設住宅、復興に向け建設された災害公営住宅の現地の状況を視察しました。また、津波が襲いかかる当時のビデオを見た後、現在の復興計画・復興状況についての説明を受けました。

両日とも情報交換や質疑を行い、先進事例の調査・研究を行いました。



陸前高田市での視察



大船渡市の小学校校庭内の仮設住宅の視察

# トピックス

## 第8回夢・未来熊谷 ジュニア議会開催

11月14日 市議会本会議場において、「夢・未来熊谷ジュニア議会」が開催されました。



会議では市内の16の中学校から選出された32名のジュニア議員から、ラグビーワールドカップや企業誘致などの市の未来についてのものから、図書館の閉館時間や道路の整備など身近なものまで、子どもたちの視点から幅広い質問がなされ、市長をはじめ副市長、教育長、担当部長が答弁を行いました。

## 熊谷市へ先進地視察に お越しいただきました

10月10日 愛知県知多市議会福祉文教委員会Ⅱスポーツ振興について



くまびあを視察する  
知多市議会議員の皆さん

10月23日 愛知県刈谷市議会文教委員会Ⅱ小中学校における熱中症対策について



定置型熱中症予防指標計(WBGT)を  
視察する刈谷市議会議員の皆さん

10月23日 広島県東広島市議会文教厚生委員会Ⅱスポーツ熱中都市宣言について

10月24日 福岡県那珂川町議会経済福祉常任委員会Ⅱ商工観光施策について



国宝歎喜院聖天堂のめぬまガイドボラン  
ティアを視察する那珂川町議会議員の皆さん

10月24日 北海道網走市議会拓進会Ⅱ夢・未来熊谷ジュニア議会について



松浦議長より歓迎のあいさつ

11月5日 山梨県甲府市議会こつふクラブⅡ子育てするなら熊谷市について、あつさはれば熊谷流について



暑さ対策グッズを視察する甲府市議会議員の皆さん

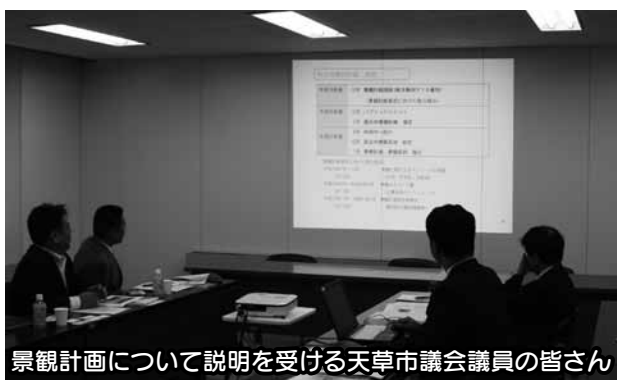
11月7日 埼玉県西入間広域消防組合議会Ⅱ消防通信指令事務協議会について

11月13日 香川県宇多津町議会総合庁舎耐震改修等特別委員会Ⅱ庁舎の耐震化について

11月13日 埼玉県川口市議会自民党Ⅱ地球温暖化防止活動推進センターについて

11月20日 大分県宇佐市議会八日会Ⅱ子育てするなら熊谷市・子育て応援プロジェクトについて

11月21日 熊本県天草市議会新風天草Ⅱ自治基本条例について、景観計画・景観条例について



景観計画について説明を受ける天草市議会議員の皆さん

## 総務文教常任委員会

委員長 久夫 野澤  
副委員長 三千夫 黒澤  
委員 夫 保照 大久  
昭安 新井  
秋 崎 加賀  
兵衛 松岡  
浩 和 大嶋  
弥 関口

熊谷市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例について

熊谷市火災予防条例の一部を改正する条例について

**問** 骨髄のドナー登録をして、実際に検査をして骨髄を提供する期間があるが、これについて、証明的なものが公的機関から出るのか、伺いたい。

**答** 骨髄提供をコーディネートしている公益財団法人日本骨髄バンクから提供に要した期間や時間を記載した証明書が出る。

**問** 病気休暇中の給与はどうなるのか、伺いたい。

**答** 通勤手当、管理職手当、特殊勤務手当を除く給与が支給される。

**問** 改正に係る特別休暇等の取得は何件くらいあるか、伺いたい。

**答** 平成24年中の特別休暇等の取得状況は、90日以上病気休暇を取得し休職となった者が4人、子の看護休暇取得者は117人で平均取得日数が3・5日、短期介護休暇は1人で取得日数は4・5日、ボランティア休暇、組合休暇の取得者はいなかった。(所管課・職員課)

**問** 検定対象機械器具等の品目はどういうものか伺いたい。

**答** 消火器や消火薬剤、スプリンクラーヘッド、感知器、受信機、金属製の避難はしご等で、現在14品目が指定されている。(所管課・予防課)

平成25年度熊谷市一般会計補正予算(教育費)について

**問** 地域公民館管理運営経費で購入する星宮公民館の備品等の内容を伺いたい。

**答** 練り鉢や包丁等のうどん打ちの道具が約13万円、DVDのカラオケシステム、スピーカー、マイクのセットが約26万円、冷蔵庫14万5千円、2連はしごの7メートルのものが約5万円である。(所管課・中央公民館)

## 環境産業常任委員会

委員長 高広 閑野  
副委員長 幸子 林  
委員 健昇 原  
修 磯崎  
市 貢 松本  
み 井 桜  
延 永 須  
実 田 杉

熊谷市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例について

**問** 今回の改正により、し尿処理の手数料に関して、どのくらいの影響となるか伺いたい。

**答** 平成24年度の実績をもとに試算すると、1世帯あたり1カ月約26円、年間で312円の増、市全体として約185万円となる見込みである。(所管課・環境衛生課)

熊谷市農業集落排水施設条例の一部を改正する条例について

**問** 全体の中で使用料が2地区だけ違うが、どうして違うのか。また、消費税の引上げとの関係から今後の値上げの見通しはどうか伺いたい。

**答** この使用料は、合併前からの使用料が引き続いており、合併時点で合併後に統一をするということになっていた。今回、統一に向け段階的に値上げし、数年後には統一することを検討している。

**問** 本市は世帯割、人員割で使用料を計算しているが、他市の使用料はどうなっているのか。また、使用料を従量制にするということは検討されているのか伺いたい。

**答** 他市の状況だが、従量制のところもあるが、大半が本市と同じ料金体系となっている。従量制については、水道部との調整等が出てくるため、本格的な検討までにはいたっていない。(所管課・農地整備課)

「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の提出を求める請願について

主な意見・この請願内容は、基本的にゴミを出さない、発生抑制を強化していくということであり、趣旨も請願事項についても賛成の立場である。基本的に繰り返し使えるものは繰り返し使い、ゴミを出さないという意味では進めていくべきである。  
・請願事項に学校牛乳の瓶化の促進とあるが、瓶は持ち運びが重く、割れて危険などの問題点があり、現在の紙パックに変更となった経過がある。

## 市民福祉常任委員会

委員長 健二 厚  
副委員長 小池 甚一  
委員 小林 富男  
松本 恒男子  
加藤 美智子  
大山 和一  
三浦 新一  
小林 一

公の施設の指定管理者の指定について  
(熊谷市市民活動支援センター)

**問** 指定管理者候補者として選定された熊谷市社会福祉協議会が指定管理を行っている施設は何力所あるか伺いたい。

**答** 市民活動支援センターのほか、熊谷コミュニティセンター、箱田高齢者・児童ふれあいセンターおよび別府荘、上之荘、江南荘、ひかわ荘の4カ所の老人福祉センターの合計7カ所の指定管理を行っている。  
(所管課・市民活動推進課)

公の施設の指定管理者の指定について  
(熊谷市立老人憩の家荒川荘・平戸荘)

**問** 両施設とも高齢者の方の利用が多いかと思うが、説明の中で子供会の方たちも利用しているとのことであり、その点について伺いたい。

**答** 原則は60歳以上の高齢者や団体の利用を優先しているが、施設が空いているときには地域の子供会やグループの打ち合わせ等の利用も可能として

いる。

(所管課・長寿いきがい課)

平成25年度熊谷市一般会計補正予算  
(民生費) について

**問** 健康スポーツセンターの管理運営業務委託の限度額が1年で5,600万円とのことだが、1年単位とした経緯を伺いたい。

**答** 平成26年3月で現在の指定管理期間が満了するため、平成26年度から3年間の指定管理者を公募したところ2団体から応募があり、10月に指定管理者選定委員会でプレゼンテーション審査を行ったが、2団体とも最低必要点に達しなかったため、指定管理者候補者を選定しなかった。再度指定管理者を公募すると日程的に4月からの管理運営に間に合わないため、やむを得ず26年度1年間に限り業務委託の方法により管理運営することとし、27年度から3年間の管理運営は指定管理者を公募していく予定である。  
(所管課・健康づくり課)

## 都市建設常任委員会

委員長 淳  
副委員長 忠之  
委員 次夫 美吾  
守屋 信一  
山田 清正  
新井 勝  
新田 岡  
福富 森

熊谷市手数料徴収条例の一部を改正する条例について

**問** 消費税率の改正に伴い改正される、長期優良住宅建築等計画の認定申請で、構造計算適合性判定を要する場合、申請手数料および低炭素建築物新築等計画の認定申請で、同じく構造計算適合性判定を要する場合の申請手数料について、判定対象床面積の幅が5段階に定められているが、この中で判定対象床面積の幅が大き過ぎると思われるものがある。これをさらに2段階くらいに分けることはできないか。

**答** 構造計算適合性判定を要する場合の申請は、市から外部の第三者機関に適合性判定を委託しており、委託先において適合性判定の枠が5段階の床面積の幅に定められていることから、それに見合った形で条例で定めている。

(所管課・建築審査課)

市道路線の認定・廃止について

**問** 市道路線の認定のうち、道路内にある電柱をよけるように道路側溝が整備されている道路があるが、このようになった理由は何か。

**答** もともとの場所に電柱があり、また、地先の土地所有者の方が民地の建柱に同意していただけなかったため、やむを得ず道路内の建柱となっている。

(所管課・管理課)



